

2015年度 プロジェクトレポート

皆さまのご支援が、日本中で、世界中で、よこばれています！

2015年度の実績(概算)

ソロモン諸島・バブアニューギニア 熱帯雨林保全

貴重な熱帯雨林を守るために、
新しい農業スタイルを育成しています。

貴重な熱帯原生林が広がる南太平洋地域。バブアニューギニアやソロモン諸島といった島国では、国土の約60%が熱帯雨林に覆われています。しかし人の手がほとんど加わってなかった原生林が、1970年以降は商業伐採や人口増加による過剰な焼畑などによって、急速にその姿を失ってしまいました。エコカード基金では、過剰な焼畑に代わる定置型有機農業の普及をおこない、原生林を守るための持続可能な取り組みを進めています。2016年、長年にわたるこの活動がソロモン諸島政府から高く評価され、エコカード会員を代表してコスモエネルギーの森川社長が叙勲を受けました。授賞式の様子は同封の号外をご覧ください。皆さまへの御礼として、ソロモン関連商品のプレゼントもご用意いたしました。

熱帯雨林保護区として登録
8,000ha

職業訓練校の生徒数
200名

▼バブアニューギニア



プロジェクトパートナー:公益財団法人オイスカ

▼ソロモン諸島



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人エービーエスディ(APSD)

キリバス共和国・ツバル 南太平洋諸国支援

南太平洋に浮かぶ小さな島々で、
マングローブを植林。

国土の海拔が低く、面積の狭い南太平洋の島々は、地球温暖化をはじめとした気候変動の影響をいち早く受けてしまいます。エコカード基金では、キリバス共和国とツバルで植林活動をする2つのNPOをプロジェクトパートナーに迎え、地元の人たちとも協力してマングローブの植林を実施。マングローブという自然の防波堤によって、海面上昇による海岸線の浸食を食い止めることをめざしています。

▼キリバス共和国



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 国際マングローブ生態系協会

▼ツバル



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 Tuvalu Overview

マングローブの植林
10,000本

マングローブの植林
2,000本

宮城 東日本大震災の復興支援 森は海の恋人

子どもたちの元気な声が、
東北の海に戻ってきた日。

震災から5年がたった今でも、東北の子どもたちは海から遠ざかったままでした。そんな彼らに、海のすばらしさをカラダ全体で感じてもらうためのプログラムです。自分でエサを確保し、自分で釣った魚を調理する海釣り体験。養殖イカダで、カキやホタテなどを観察する体験。キラキラと輝く子どもたちの目が、とても印象的でした。



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 森は海の恋人

キャンプの参加者
28名

山梨 ムササビとともに暮らす里山再生

野生動物と共生する森が
できました。

富士山の北東に位置する都留で、里山をつくるプロジェクトです。ムササビの餌になる実をつける広葉樹を植林。そして間伐などを継続的に実施することで、森を整備しています。2015年度は、若い木をシカやウサギの食害から守るために保護柵も設置しました。5年前は人が入ることでもできないほど密集して木が生えていた暗い森が、今ではきれいに整備された明るい森になりました。



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 都留環境フォーラム

森林の整備
0.5ha

長野 人と森をつなぐ

大自然のなかで、
子どもたちが大きく成長。

自然とふれあうことの少ない子どもたちに、自然体験の機会を提供するプログラム。養護学校の子供たちが参加した取り組みも、そのひとつです。長野県の黒姫にあるアフアの森で、生物を観察したり、木登りに挑戦したり。「触る」「嗅ぐ」「味わう」といった体験によって、たった1日でまるで別人のようにたくましくなりました。



プロジェクトパートナー:一般財団法人CWニコルアフアの森財団

参加者合計
55名

ありがとう!

Tenkiu tru!

Fakafetail!

ko rabwa!

謝謝!

北海道 種まき塾

北海道で、ココロと大地に、
タネを蒔きました。

ゴルフ場の跡地を森に戻すことからはじまったこの取り組み。森の中から、赤エゾマツやミズナラなどの種や実生(芽生えてまもない木)を集め、数年かけて苗木を育成。北海道内で植林をしている団体にその苗木を寄付しています。2015年度は、のべ313人のボランティアが参加し、9,800本の苗木を育成しました。まだ道半ばではありますが、ゴルフ場跡地は少しずつ森に戻ってきています。秋には、その成果を見に行くエコツアーを実施しますので、ぜひご参加ください。

エコツアー開催!詳細はP.4へ▶



種の採取・育苗
9,800本

プロジェクトパートナー:有限責任事業組合 富良野種まき塾

長野 アカマツの森 里山再生

里山での落ち葉かきを実施。
その成果はマツタケの収穫に!?

人の手が入らず荒廃が進んでいた長野県伊那市の森を、かつてのようにマツタケが育ちやすい環境にする活動です。2015年度はエコカード会員の皆さまと一緒に、里山の整備を実施。地元の人たちのアドバイスを受けながら、大きな熊手を使って落ち葉かきをしました。この成果は、きっと近い将来にマツタケの収穫となってあらわれることでしょう。



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

里山の整備活動
2回

長野 どんぐりの森 里山再生

山火事になった里山で、
どんぐりの木々や動物たちが
育ちました。

北には浅間連山、南には蓼科や八ヶ岳連峰を望む里山が、2010年に山火事で焼失。その4ヘクタールにおよぶ広大な森を復活させるために、2011年にスタートした取り組みがついに完了しました。これまでに12,000本におよぶコナラやクヌギを植林。今では3メートルほどに育った木もあります。また、チョウだけでも希少種を含む43種が確認されるなど、生物多様性の極めて高い「どんぐりの森」に再生することができました。



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

苗木の維持・保全作業
4ha
完了しました!

中国 シルクロード緑化

砂漠化や黄砂を食い止めるための
植林活動。現地の人たちにバトンタッチ。

黄河の上流域に広がる黄土高原。このシルクロードが横断する地域での植林プロジェクトは、13年間で400ヘクタールの土地に860,000本の実績を残しました。この長年にわたる取り組みによって、地域住民の環境意識は高まり、植林活動を継続する体制も整ったため、エコカード基金の支援は2015年度をもって終了しました。



プロジェクトパートナー:特定非営利活動法人 2050

沙棘(サジー)の植林
90,000本
完了しました!

今年、おかげさまで3つのプロジェクトは完了いたしました。ご支援ありがとうございました!

中国 森林・生態系回復

希少動物を保護するための
植林活動が、無事に完了いたしました。

絶滅危惧種のジャイアントパンダやキンシコウ(別名ゴールデンモンキー)の貴重な生息地である中国中部のシンレイ山脈。動物たちの移動を妨げていた廃道に実施してきた植林は、2005年度からの累計で、100,000本(120ヘクタール)に。動物の生息数も回復してきたため、2015年度をもってプロジェクトを終了しました。



プロジェクトパートナー:西北大学生命科学学院

苗木の植林
6,000本
完了しました!

知ってるほど!
豆知識

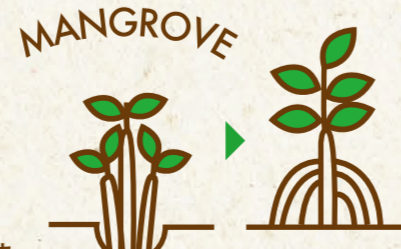
Q. アカマツの森でマツタケが育つには?

A. マツタケは栄養分が
乏しい土壌に育ちます。
そのため栄養の元となる
落葉が積もっていただけ。
落葉を取り除き、あえて栄養の
乏しい土壌にすることが必要です。



Q. 強いマングローブを育てるには?

A. キリバス共和国やツバルの
マングローブ植林活動では、
1つの穴に3本の苗を植える
「3本植え」という手法を採用しています。
こうすることで、強い苗だけが育ち、
耐久性に優れた木を育成することができるのです。



エコカード
新規入会切替
キャンペーンのご報告

キャンペーン期間中にご入会いただいた皆さま、誠にありがとうございました。苗木は北海道富良野のゴルフ場跡地に植えることで、森づくりに役にたてられます。これからも、引き続きご支援よろしくお願い申し上げます。

苗木**5,510本**を寄付いたします。

より詳しい情報は
「コスモ石油エコカード基金活動紹介」の
ホームページをご覧ください。

<http://ceh.cosmo-oil.co.jp/kankyo/eco/activity.html>

